



環境リモートセンシング 研究センター

Center for Environmental Remote Sensing

Newsletter No.210

千葉大学環境リモートセンシング研究
センター ニュースレター 2023年5月
発行：環境リモートセンシング研究センター
(本号の編集担当：樋口篤志)
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 / Fax: 043-290-2024
URL: <https://ceres.chiba-u.jp/>

大学院融合理工学府地球環境科学専攻リモートセンシングコース 令和5年度入試説明会

5月13日(土)の13時より、共同棟102講義室とZoomオンラインのハイブリッド形式で、令和5年度のリモートセンシングコースの大学院入試説明会を開催しました。主な対象は2023年10月入学もしくは2024年4月入学を希望する志望者で、今年度は対面・オンライン合わせて37名の参加者がありました(うち学内17名)。説明会は市井コース長の挨拶から始まり、ヨサファット学務委員から募集要項の内容に沿った入試に関する日本語および英語の説明があり、その後、各教員が3分程度で各研究室の研究内容の紹介を行いました。説明会の後半では、対面の参加者は各教員の研究室を訪問し、オンラインの参加者は研究室ごとに設定したZoomのブレイクアウトルームに参加して、個別に各教員から研究内容のさらに詳しい説明を受けました。今年度は8月16日に博士後期課程、8月17日に博士前期課程の入試が実施される予定です。一人でも多くの熱意を持った学生が受験してくれることを期待しています。(学務委員・齋藤尚子)



大学院入試説明会の様子(共同棟102講義室にて)

新任職員の紹介

■ 山本 雄平 テニユアトラック助教：市井研究室



今年度の4月から、国際高等研究基幹のテニユアトラック助教として着任しました。CERESでも引き続き兼務します。2019年4月からの4年間、私は市井研究室で特任助教として活動し、静止軌道衛星ひまわりを用いた陸面モニタリングに関する研究に取り組んできました。具体的には、地表面温度のリトリバルアルゴリズムの開発・改良を行いながら、作成した地表面温度データを実際に活用して、都市ヒートアイランド現象や植生の乾燥化検出に関する研究を行ってきました。

これからも引き続き都市と植生のリモートセンシングに力を注いでいく計画です。まず優先的に取り組みたいのは、ひまわりデータを用いた光合成量と蒸発散量の推定手法の開発。気候変動による熱波や干ばつ等の極端イベントの頻発化が懸念される中、植生環境の急速な変動を捉えることは非常に重要で、光合成活動や水環境を高頻度に監視できる手段を創りたいと考えています。同時に、都市環境への影響評価も重要です。これまで開発されてきた衛星の日射量や地表面温度データ、数値モデルから得られる気温、湿度、風速データなどを組み合わせて、“人間の体感温度”という視点から、都市の暑熱環境をより深く調べたいです。

テニュアトラックとして、今後5年間の成果に基づく審査を受ける立場になります。5年間というと、博士号取得までの博士前期・後期課程を思い出します。当時は査読付き論文が3本あれば大丈夫だとされていましたが、今回はそれ以上の論文数が必要です。加えて研究資金の獲得、教育、社会貢献といった多様な業績が求められます。テニュアとして認められるためには、これまでの4年間の特任助教時代よりも更に、更に成長が求められるようです。そんな状況ではありますが、ピリピリせずに、色んな研究者や学生さんと協力し合いながら、楽しく研究を進めて、論文掲載や資金獲得等につなげたいと思います。

■ ラム シャーマ 特任研究員：市井研究室

My name is Ram Sharma. I came to Japan at my young age for the purpose of pursuing education particularly in the field of science and technology. I have a Masters degree in Environmental Systems from the Graduate School of Frontier Sciences, the University of Tokyo and Doctoral degree in Earth Sciences (Remote Sensing) from the Graduate School of Science, Chiba University. I have also experienced working in three Japanese Universities. My research fields comprise terrestrial ecology, remote sensing, carbon and water cycles, and machine learning. I have published more than 18 first-authored research articles in international journals and more than 12 co-authored research articles in international journals. I have recently joined the Ichii laboratory at the Center for Environmental Remote Sensing (CEReS) as a Specially Appointed Researcher. I'm currently focused on geostationary satellites-based geo-spatial science products development beneficial to the scientific community as well as the general public. I've been enjoying working at Ichii laboratory and interested in collaborative research with researchers from diverse backgrounds.

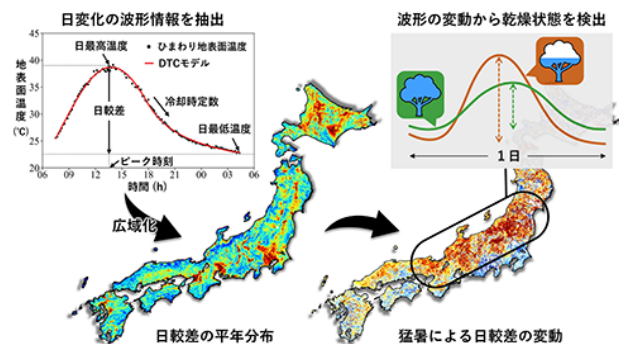


■ CEReS よりお知らせ <<ニュースリリース>>

気象衛星で植物の熱中症を診断
～温度日変化の波形が水分不足のサインを捉える～

先にご紹介の山本助教らが参画する国際共同研究グループは、気象衛星ひまわり8号から観測された地表面温度の日変化情報を活用することで、従来手法よりも詳細に植生の乾燥状態を検出できることを明らかにしました。

本成果は2023年4月10日に国際学術誌 Remote Sensing of Environment にオンライン掲



載されました。

詳細はこちらから▶ <https://ceres.chiba-u.jp/4283>